

福祉工学シンポジウム2007

Welfare Engineering Symposium 2007

メインテーマ あたり前のことを知る

自分の「あたり前」と他人の「あたり前」とが同じとは限らない。研究開発・臨床現場・ユーザが互いの「あたり前」をもっと理解する場が必要である。

開催日：2007年10月1日(月)～3日(水)

会場：(独)産業技術総合研究所つくばセンター 本部・情報棟, 共用講堂
(茨城県つくば市梅園1-1-1)

主催：日本機械学会 ロボティクス・メカトロニクス部門(幹事部門)

機素潤滑設計部門、機械力学・計測制御部門、バイオエンジニアリング部門

共催：(独)産業技術総合研究所

併催：第5回生活支援工学系連合大会

(第23回ライフサポート学会大会、第7回日本生活支援工学会大会)

特別講演

10月1日(月)14:00～15:00 (市民公開講座)

▶「デンマーク王国の高齢者居宅介護促進プロジェクト『Be Safe』
におけるアザラシ型ロボット・パロによるロボット・セラピー」

Lone Gaedt

(デンマーク認知症プロジェクト(Be Safe)リーダー)

10月2日(火)13:00～14:00 (市民公開講座)

▶「人の活動を支援するロボットスーツHAL」

山海嘉之(筑波大学 機能工学系 教授)

10月1日(月)13:10～13:50

▶「NEDOにおける福祉用具開発に関する取り組みについて」

小澤純夫(新エネルギー・産業技術総合開発機構
機械システム技術開発部長)

実行委員会企画

～「あたり前のこと」を知るために～

- ▶ 売れる知能化福祉機器とは
- ▶ 逆発表会－工学に期待すること
- ▶ 寝たきりを福祉工学で救えるか
- ▶ 技術者と福祉従事者のコラボレーション
- ▶ オプタコンの残したものを、伝えるもの
- ▶ 夢の視覚障害歩行補助機器を考える
- ▶ 展示体験コーナー

一般講演

▶ 68演題(16セッション)

参加登録費：一般：5,000円、学生：2,000円

- ✓ 保健・医療・福祉関連職/ユーザには一部割引があります
- ✓ 講演論文集、懇親会参加費は別料金です
- ✓ 市民公開講座と展示体験コーナーは無料です

ホームページ：<http://www.assistive2007.org/>

問合せ先：staff@assistive2007.org

シンポジウム事務局(実行委員長 小野栄一)

後援：産業技術連携推進会議ライフサイエンス部会医療福祉分科会(経済産業省)、
(独)新エネルギー・産業技術総合開発機構、(財)テクノエイド協会、
つくば市、(社福)つくば市社会福祉協議会

協賛：日本リハビリテーション工学協会、日本福祉用具・生活支援用具協会、
電子情報通信学会、精密工学会、計測自動制御学会、日本ロボット学会、
日本人間工学会、日本生体医工学会(日本エム・イー学会)、
日本コンピュータ外科学会、日本福祉のまちづくり学会、長寿科学振興財団、
日本理学療法士協会、茨城県理学療法士会、日本作業療法士協会、
茨城県作業療法士会、共用品推進機構(日本共用品推進機構)、
日本シーティング・コンサルタント協会、
IEEE RAS TC on Rehabilitation Robotics



社団
法人

日本機械学会

The Japan Society of Mechanical Engineers